

こくりにゆう だより



12月号

大阪府立桜塚高等学校 1年 清水 瑠璃

「雪の中にいる少女を描きました。気に入っていただけたら嬉しいです。」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



フィリピンコミュニティ クリスマス会

12月8日(日)

14:00~16:00

地域のフィリピン人同士の交流や情報交換のためのクリスマスパーティー。

定員 :50名(申込不要・当日先着順)

参加費:無料(ただし軽食1品と交換用プレゼント[おとなは1000円分、子どもは500円]をご持参ください)

対象 :フィリピン人とその家族

おまつり地球一周クラブ

チョアチョアコリア

12月21日(土)

10:00~12:00

韓国出身の講師と一緒に、ゲームやお料理作りをする。

定員 :小・中学生15名(申込先着順)

参加費:300円

申込 :12月17日(火)までに電話・来館で受付。

国流シネマカフェ

「チャーリーと チョコレート工場」

12月22日(日)

15:00~17:30

世界一のチョコレート工場に隠された秘密をユーモラスに描いた、子どもも大人も楽しめるファンタジー映画。

定員 :30名(申込先着順)

参加費:無料

申込 :電話・来館で受付。

10月19日(土)開催

アリラン峠を越えていくー在日コリアン音楽の今 in とよなか

足立副市長
のあいさつ



高正子さんの解説



安聖民さん・趙倫子さんのパンソリ公演



第二部 監修者を交えたトーク



ドキュメンタリー映画『アリラン峠を越えていくー在日コリアンの音楽』は2014年に国立民族学博物館で行われた研究公演をきっかけに制作された作品です。

本イベントではこの作品の上映、パンソリ公演、監修者と出演者によるトークショーの三部構成で行い、100名近くの参加者がありました。

作品では朝鮮半島の民族音楽を継承する人たちの音楽に焦点をあて、南の民族音楽を継承するパンソリ唱者の安聖民さん、北の民族音楽を継承する金剛山歌劇団、そして在日コリアンの思いを様々なジャンルの音楽で表現する李政美さんの音楽に対する想いが語られています。

上映後、出演者である安聖民さんと趙倫子さんのパンソリ公演と、監修の高正子さん（神戸大学非常勤講師）、寺田吉孝さん（国立民族学博物館教授）も含めたトークショーで、作品への理解をより深めることができました。

参加者の感想には「希望をもって、力を合わせてよりよい社会をめざしていきたい」「今日得た気持ちを大事に生きていこうと思う」など、この公演で力をもらうことができたという言葉がたくさん綴られていました。またこのようなイベントを企画したいと思っています。（事務局次長・山本愛）

10月26日(土)開催

INTERNATIONAL POTLUCK PARTY

日本に住む沢山の外国の方たちが交流できて、お互いに情報を共有して、仲良くなって、もっと楽しめたらいいなと思い、インターナショナルパーティーを去年企画しました。2回目の今年は司会をさせていただき、ステージから見える皆さんの雰囲気を感じることができて嬉しかったです。

準備から当日まで色々な緊張と不安がありました。多言語スタッフの仲間たちと職員の協力によって無事に終わったことに感謝です。来年はもっとよくなるでしょう！といった希望も感じられました。

個人的に、最後に「隣の人と握手しながら挨拶しましょう！ハグでもいいですよ」と言った時、最初のもじもじした姿と違ってみんなが積極的にあちこちで挨拶しあう姿が頭から消えないくらい印象的で、新しい雰囲気を感しました。全員で「世界に一つだけの花」を合唱したあと、パーティーが終わってもすぐに帰らず、みんながこの雰囲気を味わっているところも印象的でした。

各国の料理もステージも良かったと思います。色々な国の人たちの中で、温かい情を感じられたことがとても良かったです。

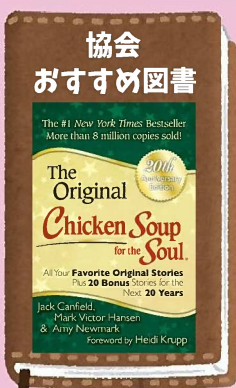
(多言語相談サービス事業韓国語スタッフ・朴貞淑)



ダンスや楽器の演奏で会場を盛り上げました！



参加者全員でのダンス、各国の料理も大人気！



Chicken Soup for the Soul (Jack Canfield 著)

「心あたまる本」として世界中でベストセラーになった本で、日本に移住することを決めたとき、いとこが「慣れない場所へ行くな、この本を読むといいよ」と私にすすめてくれた洋書です。

日本ではできるだけ日本語に慣れようと思い、日本語で書かれたものを読むようにしていました。結婚・出産をしてフィリピンと日本の『当たり前』がちがうことに戸惑っていた頃、いところから「あの本読んだ？」と聞かれ、フィリピンに里帰りした際に書店で買って日本に帰りました。

一度目は買ってすぐに、二度目は二人の子どもの進学先に悩んだとき、三度目は去年…すぐに読める短い短編集ですが、読むたびに新しい発見や納得があるエッセイ集です。

(多言語相談サービス事業フィリピン語スタッフ・平松マリア)

今回は、小学校外国語体験活動のボランティア・ベルさんにお話を伺いました。

——どこでとよなか国際交流センターを知りましたか？

初めて国流を知ったのは、市役所に行ったとき。タイ語のパンフレットにセンターの電話番号が載っていたのを見つけました。

特に相談したいことがあったわけじゃないけど、タイ語だ！と思ってとりあえず持って帰った。日本でタイ語で書かれたものがあるのはめずらしいから。

——その後、センターにつながったきっかけは？

その1ヶ月後くらいに、タイ語でしゃべりたいなどおもって、「タイ人いますか？」って電話しました。子どもが1歳だったからセンターに連れていくのは無理かなと思ったけど、当時のタイ人のスタッフがいろいろな事業を紹介してくれました。

その中に「おかもち・おやこでにほんご」もあって、参加してみたらすごく楽しかった。もう12年くらい前の話です。

子どもが幼稚園に入ってから、朝に時間が出来たので日本語の勉強をしようと思って「とよなかにほんご・金あき」に参加するようになりました。参加年数はもうすごく長いね。ボランティアさんが変わる中、私の方が長く参加してる(笑)。とっても面白いよ。

——今は子どもたちに教える活動もされていますよね。

小学校外国語体験活動のボランティアも、2010年から続けています。子どもが小学校に入る前に、日本の小学校がどんなのかを経験したくて。これまで英語、タイ語を小学校で教えてきました。

これから新しい経験もしてみたいので、雰囲気違うし、難しいかなと思うけど、中学校にも授業に行ってみようと思います。



とよなかにほんご・金あき
小学校外国語体験活動
ボランティア
ベルさん

コラム
外国人相談
あれこれ

第53回 「言葉を超えてつながる。」



吉嶋かおり (外国人のための多言語相談サービス・相談員)

「通訳はなしでいい」と相談の予約がありました。その方は以前は通訳付きで対応し、その際、日本語での会話は難しい様子でした。それなのに通訳を希望しないとは…？何の相談なのだろうと思いながら面談を始めました。相談者は、知ってる限りの日本語を使い、何かを聞こうとしています。相談者が話していることを理解するのは困難でした。何とか答えようと思いますが、それが相談者が聞きたい質問なのか、得たい答えなのかもつかめないままでした。なんとなく噛み合わない感じが続きました。これほど言葉の壁がある方との一対一の面談は初めてでした。それは相談者自身のほうを感じていたはず。でも通訳なしで語っているということは、相談者がそれほどこの面談を必要としている何かがあるはずだと感じました。それで、私はもっと集中して耳を傾けていこうと気合を入れ直しました。相談者が語る内容を聴くのはもちろんですが、それにはどうしても限界があるので、内容以上に、相談者がどんなふうにいるか、言葉の後ろにあるその強い思いは何なのだろうと、本当に必死な思いで向き合い続けました。この対話を諦めたくはありませんでしたし、諦めるべきではないと強く思いました。

そうやって二人で必死にやりとりしていると、二人の間がだんだん繋がってきたような感じが湧いてきました。あー、相談者が言いたいこと、聞いてもらいたいことはこれなんじゃないか、と。言葉で正確に理解し合えたわけではありませんでしたが、通じ合えたように思える瞬間が生まれました。そうすると、相談者は堰を切ったように泣き出しました。相談者が抱えていた深い傷つき。相談者はその傷を一人で抱えていたのだと思います。それは相談者自身も気づかなくていた傷みだったのかもしれない。

言葉が十分できない状況で生きていくのは、それだけで強い疎外感や孤独を感じます。その中で辛い出来事を経験すると、その孤独感は一層増します。

相談者と私は、正確な言葉で意味を理解し合うことは、やはりできなかったと思います。でも、言葉を越えて通じ合ったんじゃないかと思えます。相談者の溢れる涙が持つもの、それは私の中でも確かに感じられていました。言葉では通じ合えないということもあり、私はただその傷みと一緒にいることしかできませんでした。でも、孤独を和らげたり癒したりできるのは、ただ一緒にいてくれる誰かの存在ではないかと思えます。

この面談は、言葉でやりとりできないからこそ、言葉を超えて共にいる、そういう貴重な体験でした。暗黙の前提を共有する日本人や日本語での支援では経験できないような、深い時間でした。とても難しかったです。でもとても大きな、深い深い余韻を、今もこうして感じさせてくれる出会いでした。何とかして理解したいと頑張った自分を褒めたい。そして、必死に、諦めずに語ってくれた相談者に感謝します。二人で成し遂げた時間でした。

【イベント告知】国流シネマカフェ 「チャーリーとチョコレート工場」

参加者から「次回はいつ？」と問い合わせも多い国流シネマカフェ。今回は「チャーリーとチョコレート工場」を上映します。

チョコレート工場？子ども向けじゃないの？と思ってしまいますが、ジョニー・デップとティム・バートン監督の作り上げる可笑しくて奇妙な世界観と、そこに織り交ぜられた現代社会に対する皮肉に、大人も子どもも一気に惹き込まれてしまいます。

15年間誰も入ることのなかった世界一のチョコレート工場見学に、5人のラッキーな子どもたちが招待される。創業者ウォンカの目的と、工場に秘められたものとは一体…？

続きはぜひ映画を見てお楽しみください。(協会職員・三木幸美)



前回は「帰って来たヒトラー」
を上映しました！！

第14回 国流シネマカフェ 「チャーリーとチョコレート工場」

日時：12月22日(日)

15:00~17:30

会場：とよなか国際交流センター

参加費：無料

定員：30名(申込先着順)

申込：電話・来館にて受付。

06-6843-4343

2019

12月の事業開催カレンダー

赤字はイベントです。イベントの詳細は表紙下部をご覧ください、
とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
25 もっど	26 おやこ 学業多	27 休館日	28 木ひる にこにこ	29 金あさ にこにこ 相談 学業多	30	01 貸室利用抽選会 目的利用：～3月末まで 一般利用：～2月末まで
02 もっど	03 ※1 おやこ 学業多	04 休館日	05 木ひる にこにこ 千里 世界を食べよう 10:00～13:00	06 金あさ にこにこ 相談 学業多	07 出版記念シンポジウム 勝手に協議離婚?! 13:00～16:00	08 がちゃ 母語 サンプル 若者 FYAHC クリスマス会 14:00～16:00
09 もっど	10 ※2 おやこ 学業多	11 休館日	12 木ひる にこにこ 千里	13 金あさ にこにこ 相談 学業多	14 ついで	15 がちゃ サンプル 若者
16 もっど	17 ※2 おやこ 学業多	18 休館日	19 木ひる にこにこ 千里	20 金あさ にこにこ 相談 学業多	21 おまつり地球一周クラブ チョアチョアコリア 10:00～12:00	22 ※3 がちゃ 母語 サンプル 若者 国流シネマカフェ 15:00～17:30
23 もっど	24 学業多	25 休館日	26 ※にほんごのべんきょう ・ほいくはありません	27 相談 ※にほんごのべんきょう ・ほいくはありません	28	29 ※4 休館日
30 休館日	31 休館日	※1：3日の『おやこでにほんご』の活動については、とよなか国際交流センターで実施します。 ※2：10日・17日の『おやこでにほんご』の活動については、活動場所によって開催の有無が異なります。 詳しくはとよなか国際交流協会へお問い合わせください。 ※3：22日の『こども母語』『サンプルイス』の活動は、11～14時に合同で行います。 ※4：12/29(日)～1/3(金)は年末年始の休館日です。				

センターが主催する定例事業

月曜日	もっどもっどつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象	10:00～12:00
火曜日	おやこでにほんご (千里・岡町・庄内の各図書館で実施)	10:00～12:00
	子ども学習広場「学業多」 (庄内ガダバで実施)	16:30～21:00
木曜日	とよなかにほんご・木ひる	13:30～15:20
	多文化こども保育にこにこ	13:30～15:30
	千里にほんご (千里文化センターコラボで実施)	10:00～11:30
金曜日	とよなかにほんご・金あさ	10:30～12:00
	多文化こども保育にこにこ	10:30～12:00
	外国人のための多言語相談	11:00～16:00
	子ども学習広場「学業多」	17:00～19:00
土曜日	韓国・朝鮮のこぼとあそびのついで ※毎月第3土曜日のみ	9:30～11:30
日曜日	にちようがちゃがちゃだん	10:00～12:00
	こども母語※第2,4日曜日のみ	10:00～12:00
	学習支援サンプルイス	13:00～15:00
	若者のたまりば	17:00～20:00

場所の記載のないものはとよなか国際交流センターで実施しています。
定例事業の参加についてはとよなか国際交流協会にお問い合わせください。

今月のピックアップ

Filipino Young at Heart's Club (FYAHC)

40歳以上のフィリピン人中高年向けの居場所を2017年5月から「Filipino Young at Heart's Club」として毎月1回開催しています。

12月のクリスマスパーティーは恒例の催しとなっていて、プレゼント交換やクリスマスソングの披露、コスチュームコンテストなどで盛り上がります。

他にも、健康体操(ズンバ)や生活習慣病に関するセミナーなど、参加者の関心の高いテーマにあわせた活動でコミュニティづくりをおこなっています。



練習した健康体操(ズンバ)をイベントで披露しました!

とよなか国際交流センターおしらせ
「こくりゅうだより」第128号(2019年12月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間:9:00～21:30(貸室受付は20:00まで、水曜休館)
TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/



SNSも随時更新中!

とよなか国際交流センター」で検索!

多言語情報も
配信しています!

